



## 平成20年9月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年7月25日

上場会社名 株式会社ファルコバイオシステムズ 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 4671 URL <http://www.falco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平崎 健治郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役企画管理本部長 (氏名) 安田 忠史 TEL (075)257-8556

1. 平成20年9月期第3四半期の連結業績 (平成19年9月21日～平成20年6月20日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月期第3四半期	27,936	7.5	678	△39.7	562	△47.1	184	△67.1
19年9月期第3四半期	25,983	7.6	1,124	37.7	1,064	25.8	561	81.8
19年9月期	35,092	—	1,432	—	1,340	—	709	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年9月期第3四半期	15	10	—	—
19年9月期第3四半期	45	92	—	—
19年9月期	57	87	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年9月期第3四半期	29,519	11,494	38.9	945	28
19年9月期第3四半期	28,529	11,736	41.1	952	81
19年9月期	28,712	11,763	41.0	955	07

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年9月期第3四半期	1,422	△1,700	326	3,922
19年9月期第3四半期	1,702	△1,820	△456	3,644
19年9月期	2,346	△2,452	△239	3,873

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
19年9月期	円 10 銭 00	円 10 銭 00	円 20 銭 00
20年9月期(実績)	円 10 銭 00	— —	円 20 銭 00
20年9月期(予想)	— —	円 10 銭 00	

3. 平成20年9月期の連結業績予想(平成19年9月21日～平成20年9月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	37,100	5.7	1,200	△16.2	1,100	△18.0	370	△47.8	30	37

※当第3四半期の業績は概ね当初予想どおり推移しており、平成20年5月8日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
  - (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
  - (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- [ (注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。 ]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成19年9月21日～平成20年6月20日)における受託臨床検査市場及び調剤薬局市場は、人口高齢化や医療の高度化に伴い今後も増大する医療費を抑制するための医療制度改革や、本年4月の診療報酬改定などにより厳しい市場環境が継続しております。

このような経営環境のもと、臨床検査事業及び周辺事業につきましては、平成19年9月に本稼働いたしました東海中央研究所の開設による東海地域の検査受託体制の強化、臨床検査二次受託の拡大、医療のIT化に対応できる態勢の構築並びに新規顧客の獲得など売上の増加を図るとともに、検査原価の低減などを進めることにより、収益力の向上に努めてまいりました。

調剤薬局事業につきましては、新規店舗の開局や既存店舗の収益管理を徹底して行うなど、収益力の向上に努めてまいりました。

このような取り組みにより、当第3四半期の売上高は27,936百万円(前年同期比7.5%増)と増収になりました。利益面につきましては、新規事業であるIT事業の本格稼働に伴う費用計上が当初の予測を上回ったことなどにより、営業利益は678百万円(前年同期比39.7%減)、経常利益は562百万円(前年同期比47.1%減)、四半期純利益は184百万円(前年同期比67.1%減)となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

臨床検査事業につきましては、顧客ニーズに即した提案営業を強化し、顧客満足度の向上に努めるとともに、新規顧客の獲得により売上の拡大を図りました。また、地域ラボラトリーの集約化を図り、検査体制の効率化及びコスト削減に努めてまいりました。

IT事業につきましては、平成23年に予定されているレセプト請求の原則完全オンライン化に向けて、日本医師会が推進する日医標準レセプトソフト「ORCA」の導入支援サポートサービスに取り組んでまいりました。また、従来からある検査結果照会システム「TASCAL」を「TASCAL for ASP」に刷新するとともにASP型コンテンツサービスとして、「健診支援サービス」や「医薬品情報検索サービス」などの提供も開始いたしました。

ヒト遺伝子検査につきましては、遺伝子カウンセリング態勢が整っている医療機関に対してBRCA1、BRCA2遺伝子検査の販売強化を図りました。

このような取り組みにより、臨床検査事業及び周辺事業の売上高は、19,230百万円(前年同期比4.9%増)となりました。

調剤薬局事業につきましては、採算を重視した店舗展開を推進し、当期において当社グループで4店舗を開局、1店舗(既存店舗のフランチャイズ化1店舗を含まず)を閉局いたしました。この結果、当社グループが運営する調剤薬局等店舗総数は76店舗(フランチャイズ店4店舗含む)となりました。

また、前年第4四半期及び当上半期に開局した店舗が寄与した結果、調剤薬局事業の売上高は、8,705百万円(前年同期比13.8%増)となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の財政状態につきましては、総資産29,519百万円(前連結会計年度末比807百万円増加)、負債合計18,025百万円(前連結会計年度末比1,076百万円増加)、純資産合計11,494百万円(前連結会計年度末比269百万円減少)となりました。主な増減内容は、資産では、売上債権及び棚卸資産が増加しております。負債では、売上拡大に伴い買掛金及び長期借入金が増加しております。純資産につきましては、自己株式の取得などにより減少しております。

当第3四半期の連結キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

当第3四半期における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し3,922百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ、税金等調整前四半期純利益が減少したことなどにより280百万円減少し、1,422百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ、有形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより120百万円増加し、△1,700百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ、長期借入れによる収入が増加したことなどにより783百万円増加し、326百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年9月期の業績予想におきましては、平成20年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用  
法人税等の計上基準等については簡便的な方法を採用しております。  
また、その他影響額の僅少なものについて、一部簡便な方法を採用しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更  
該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年9月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産	12,113	12,976	862	7.1	12,125
II 固定資産					
有形固定資産	11,101	11,386	285	2.6	11,291
無形固定資産	1,072	1,174	101	9.5	1,298
投資その他の資産	4,241	3,982	△259	△6.1	3,996
固定資産合計	16,415	16,543	127	0.8	16,586
資産合計	28,529	29,519	990	3.5	28,712
(負債の部)					
I 流動負債	12,923	12,831	△91	△0.7	13,408
II 固定負債	3,869	5,193	1,323	34.2	3,540
負債合計	16,792	18,025	1,232	7.3	16,948
(純資産の部)					
I 株主資本	11,479	11,455	△23	△0.2	11,626
II 評価・換算差額等	257	38	△218	△85.0	137
純資産合計	11,736	11,494	△241	△2.1	11,763
負債、純資産合計	28,529	29,519	990	3.5	28,712

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年9月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	25,983	27,936	1,953	7.5	35,092
II 売上原価	16,789	19,243	2,454	14.6	22,817
売上総利益	9,193	8,692	△501	△5.5	12,275
III 販売費及び一般管理費	8,069	8,014	△55	△0.7	10,842
営業利益	1,124	678	△445	△39.7	1,432
IV 営業外収益	65	60	△4	△7.6	82
V 営業外費用	125	176	50	40.5	174
経常利益	1,064	562	△501	△47.1	1,340
VI 特別利益	89	37	△51	57.6	204
VII 特別損失	51	57	6	12.3	77
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,101	542	△559	△50.8	1,467
法人税・住民税及び 事業税等	541	357	△183	△34.0	759
少数株主損失	△1	—	1	—	△1
四半期(当期)純利益	561	184	△376	△67.1	709

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年9月期)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,702	1,422	2,346
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,820	△1,700	△2,452
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△456	326	△239
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0	0
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	△574	48	△345
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,218	3,873	4,218
VII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高	3,644	3,922	3,873

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (平成19年9月期第3四半期)

(単位：百万円)

	臨床検査事業 及び周辺事業	調剤薬局事業	計	消去又は全社	連結
売上高	18,330	7,652	25,983	—	25,983
営業費用	16,839	7,343	24,183	675	24,858
営業利益	1,490	309	1,799	(675)	1,124

当四半期 (平成20年9月期第3四半期)

(単位：百万円)

	臨床検査事業 及び周辺事業	調剤薬局事業	計	消去又は全社	連結
売上高	19,230	8,705	27,936	(0)	27,936
営業費用	18,508	8,255	26,764	493	27,258
営業利益	722	449	1,172	(493)	678

(参考) 前期 (平成19年9月期)

(単位：百万円)

	臨床検査事業 及び周辺事業	調剤薬局事業	計	消去又は全社	連結
売上高	24,695	10,397	35,092	(0)	35,092
営業費用	22,872	9,899	32,772	886	33,659
営業利益	1,822	497	2,319	(887)	1,432

(注) 事業区分の方法

事業は役務又は商品等の内容及び市場の類似性を考慮して区分しております。

事業区分	主要役務又は商品
臨床検査事業及び周辺事業	特殊臨床検査、一般臨床検査、食品衛生・環境検査、病院検査室の運営 電子カルテの販売
調剤薬局事業	調剤薬局の運営

[所在地別セグメント情報]

前年同四半期 (平成19年9月期第3四半期)、当四半期 (平成20年9月期第3四半期) 及び前期 (平成19年9月期) において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。